町田市　　子どもセンターぱお

体験と学びを主軸とした、防災体験イベント

取組の背景・目的

・子どもセンターぱおでは、2018 年より防災に関するプログラム「ダンボール合宿」を実施してきた。しかし、コロナ禍になりプログラムの実施が難しくなり中断。2023 年度「防災デイキャンプ」としてリニューアルをした。

・令和 6 年度から、児童館を含む児童福祉施設は、こどもの安全の確保を図るため、施設設備の安全点検、**こどもや職員に対する施設内外での生活や取組等の安全に関する指導**、職員研修等を網羅する「安全計画」を定めることが義務付けられた。子どもセンターぱおでも、**児童・保護者に対する安全指導として、イベント・プログラムの実施**が盛り込まれている。

・「防災デイキャンプ」は 30 名の申し込み制で、避難体験や起震車体験、心肺蘇生体験等を行い、防災に関する体験ができるプログラムとなっていた。「防災デイキャンプ」の実施中、周りの一般来館者からも、是非参加したかったという声が多くでたことを受け、2024 年度、より多くの人が参加できるイベントとして企画を行う。

・多くの人が参加できるイベント型にすることで、個人の防災意識を高め、それが地域の防災力を高めることを期待し、“体験”と“学び”を主軸とした防災イベント「防災体験フェスタ」を実施した。

取組の概要

・実施場所：町田市子どもセンターぱお　（東京都町田市相原町 2025-2）

・実施日時：2025 年 2 月 11 日（火・祝）　午前 11 時～午後 3 時

・関係団体：地域ボランティア・地元大学学生及び職員・町田市防災アンバサダー・消防署
地元消防団・町田市防災安全部防災課

・参加人数：幼児 32 名　小学生 53 名　中学生以上 13 名　保護者 52 名　関係者 51 名
合計 201 名

・ブース内容：

〇防災ゲーム

・防災カードゲームなまずの学校・もしもの時！防災リュックゲーム・バケツリレー・クイズラリー

〇防災工作

・ペットボトルランタン・牛乳パックホイッスル・新聞紙スリッパ

〇防災体験

・命を救う！心肺蘇生体験（AED）・だっこおんぶで避難体験※1・起震車体験・初期消火体験

・煙ハウス体験・警笛体験※2

〇その他

・アルファ化米試食(五目)・能登関連ブース・防災マップ掲示・消防車と記念撮影

※1・・・ベビーウェアリングコンシェルジュによる抱っこ紐おんぶ紐のレクチャー

※2・・・車に閉じ込められた時を想定した、車両のクラクションを鳴らす体験

工夫点・留意点

・“身に付ける”より前の“知る”機会作り

防災で大事なのは、日常的に繰り返し行う訓練。子どもセンターでも避難訓練は行われている。
今回のイベントで大事にしたことは“体験”と“学び”。防災に関する体験を通して“知る”ことで、個人の防災意識を高め、結果として地域の防災力を高めることを目的とした。

・地域のつながり

新児童館ガイドラインにも触れられている通り、児童館は災害時のこどもの居場所として、地域住民等との協働が期待されている。そのため、子どもセンターだけで実施するのではなく、地域の人材を巻き込んでの実施を目指した。

・子どもが“楽しい”と思える防災体験を

防災に関するイベントは、“大人”を対象としていることが多い。実際に町田市の防災アンバサダーからも「子どもが楽しめる防災イベントが少ない。真面目な話になりがちだから、子どもが飽きてしまう」という話があった。子どもセンターで行う防災イベントは、「楽しい」の中に、大切な「学び」があるように関係者と一緒に工夫を重ねた。

取組の効果

・子どもから大人までが一緒に参加できるイベントに

定員制のプログラムでは、ある程度年齢を区切り、対象年齢に合った内容で、防災について深く伝えることを目的としていた。今回、“どなたでも”参加できるイベントにすることで、幼児から大人まで、それぞれが新たな“体験”や“学び”を得ることができた。家族で参加できることで、家族で防災について考えるきっかけとなり、防災に関する家族ルールを確認する姿が見られた。

・親子（友人）での会話のキッカケに

警笛体験では、車のハンドルに座ってクラクションを鳴らす幼児と、それを見ながら「間違えてお母さんが“（子ども）”を閉じ込めていなくなっちゃった時に、こうやって鳴らすのよ」と親子で確認をしながら取り組んでいた。他のブースでも「防災リュックには何が必要か」、「避難所ってどんなところだろう」など、親子や友達同士で防災に関する会話が行われており、まずは身近な人同士で防災への意識が高まった。

・“漠然と”が“明確”に

「バケツリレー」ってただバケツを運ぶだけではない。交互に縦持ち横持ちの人が並び、バケツに入れる水の量も６割程度が良い。震度５ってすごい揺れ。だけど、こんなにも揺れるものだとは知らなかった。煙に巻かれたら周りが見えない。だけど、出口の光も見えづらくなるなんて。
知らなかったことを知る機会であると同時に、漠然と知っていた知識が、体験を通して明確な知識となった。まさに、“身に付ける”より前の“知る”機会となった。

課題・今後の展開

・子どもにやさしいまち「町田」として、子どもの参画のさらなる推進と地域協働

→防災への参画は、イベントへの参画に限らず、地域への参画へと幅広く展開が望める。関係団体を広め、町内会自治会との協働を進めることで、子どもと地域をつなげていくきっかけとなる。防災に関して地域と協働することで、災害時の子どもの居場所・遊び場として機能し続けられるよう、地域住民との意識の共有に繋げていく。

当日の様子

←
命を救う！
心配蘇生体験

←
防災カードゲーム
なまずの学校

←
バケツリレー

←
もしもの時！
防災リュック
ゲーム

←
だっこおんぶで
避難体験

←
アルファ化米
試食コーナー
調理実演

←
避難所グッズ体験

←
能登関連ブース

←
防災工作コーナー

←
煙体験ハウス

←
警笛体験

←
起震車体験

子どもセンターぱお

ぼうさいたいけん

防災体験フェスタ

2025年2月11日（火・祝）

午前11時～午後3時

いのちまもたいけん

命を守る、体験をしよう！

イベント内容

- 防災ゲーム…「防災カードゲームなまずの学校」「もしもの時！防災リュック準備ゲーム」「バケツリレー」「クイズラリー」
- 防災工作……「新聞紙スリッパ」「ペットボトルランタン」「牛乳パックホイッスル」
- 体験……「命を救う！心肺蘇生体験」「だっこおんぶで避難体験」「起震車体験」「初期消火体験」「煙ハウス体験」「警笛体験」

※起震車、煙、警笛体験は雨天時中止

※初期消火、煙体験は消防車の出動時中止

- アルファ化米試食　・能登関連ブース　・防災マップ　・消防車と記念撮影（※出動時中止）

概要

対象：どなたでも

協力：地域ボランティア・堺おやじ会・法政大学SIC・町田市防災アンバサダー・町田消防署西出張所・消防団
町田市役所防災安全部防災課

備考：当日、ぱおの駐車場は16時まで使用できません。公共交通機関または、近隣のパーキングをご利用ください。

問合せ：ぱお TEL：042-775-5258　または受付にて

子どもセンターぱお「防災体験フェスタ」配置図

★は屋外のため、靴を履いてね！

2025.2.11（火・祝）11:00～15:00（雨天決行※起震車・煙体験・警笛体験は中止）

命を救う！
心肺蘇生体験

だっこおんぶで
避難体験！

防災工作コーナー
○新聞紙スリッパ
○ペットボトルランタン
○牛乳パックホイッスル

1F

防災ゲームコーナ
○もしもの時！
防災リュックゲーム
○バケツリレー
○防災カードゲーム
なまずの学校
○クイズラリー

CUB

できるかな

ゆめひろば

ぱわぱふ
（乳幼児室）

授乳室

おむつがえ

EV

階段

トイレ

スタッフルーム

外階段

受付

入口

防災マップ

アルファ化米試食

2F

能登関連ブース

シーズ

堺地域子育て相談センター

EV

階段

倉庫

トイレ

テラス

外階段

すべり台

★初期消火体験

駐　車　場

★煙体験ハウス
★起震車体験
★消防車展示・撮影会
★警笛体験

けいてきたいけん
警笛体験！

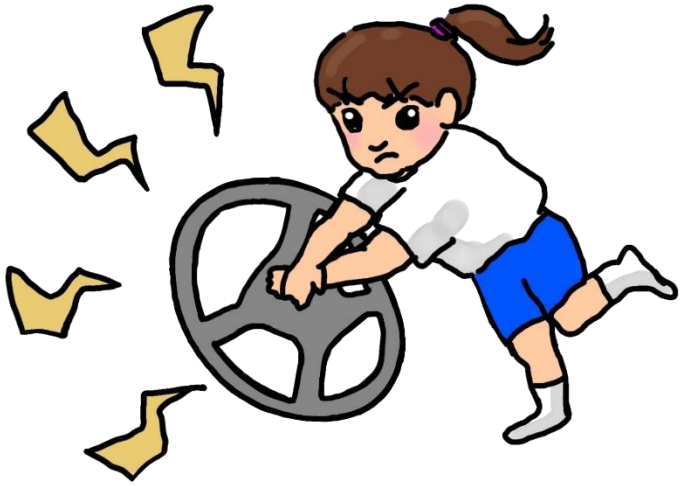
万が一、車に閉じ込められた時！
助けを呼ぶ練習をしよう！！

やり方①手で押す（小学生以上向け）

（1）両手を重ねる

（2）手のひらを当てて

（3）体重をかけて押す

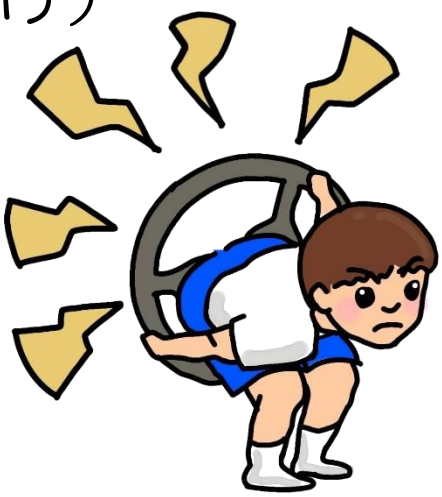


やり方②お尻で押す（幼児向け）

（1）ハンドルの上に座る

（2）両手でハンドルを持ち

（3）手を引いてお尻で押す



誰かが気が付いてくれるまで鳴らし続ける！